三潴保育園　園だより

June　2021

6月といえば、雨の季節。雨が多くなると、じめじめするし洗濯物も干せないし…と私たち大人は少しばかり憂鬱な気分になってしまいがちですが、子ども達はというとちょっと違うようです。「ポツッ ポツッて音がする」（雨粒が傘に当たる音）「ザーーって大きい音がする」（激しく屋根や地面に当たる音）「『ぱらっ ぱらっ』から『ぽぽぽぽぽ』って変わったね」（雨の降り始めから雨粒の大きさが変化する音）等、子ども達は雨音一つにも大発見。また、雨の日には特別な出会いも。子ども達が大好きなカエルやカタツムリが生き生きとお散歩に出かけたり大小さまざまな水たまりができたり、雨のしずくがアジサイの花の色をよりきれいに見せてくれたり。私たちには何気ない日常ですが、子ども達にとっては魅力ある素敵な雨の日。
ぜひ一度、子ども達の目線を感じ、新たな発見を楽しんでみてはいかがでしょうか。

とはいえ、雨の日には心配なこともありますよね。先月、保育園で行った水害訓練の様子です。「大雨のため川の水があふれて危ないので２階に避難してください」子ども達は保育者の指示のもと安全に避難します。「１階のお部屋まで水が上がってきたので、お家の方はお迎えに来れません。今日は、保育園にお泊りです。」と聞き、いっきに顔がくもり不安が募る子ども達。しばらく話を聞いていると、訓練だとわかり、ほっとした表情に変わりましたが、昨年度大雨によるお迎えが何度となくあったことを覚えている子ども達もいたようです。
恵みの雨ではありますが、時には自然の脅威を感じざるを得ないこともあります。園では、一人ひとりが不安なく安全に避難できるよう毎月の訓練（火災・地震・水害・不審者対応）を大切に取り組んでいきたいと考えています。

名頭園　弥生

水害訓練の様子

5月の子ども達の様子

クラス目標　～1か月大切にしたいこと～

たんぽぽ組	梅雨時期の衛生に留意し、気持ちよく健康に過ごす。 一人一人の体調や生活リズムに合わせ、沐浴や水遊びをして気持ちよく過ごす。
もも組	梅雨時期の身近な自然に興味を持ち、触れてみようとする。 簡単な言葉やしぐさで自分の気持ちを伝え、十分に受け止められることで安定した生活を送り、友達や保育者と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
ばら組	雨や水溜まりなど梅雨時期の自然に触れ、興味を持つ。 歯磨きやうがいなど、身近な生活習慣の大切さを知ろうとする。
うめ組	梅シロップ作りやカブトムシ観察を通して、気付いたことや驚きを友達や保育者と共有して楽しむ。 一日の生活で必要な準備を写真や文字を見ながら自ら進んで行おうとする。
すみれ組	梅雨時期の自然にふれて、遊ぶことを楽しむ。 いろいろな素材や道具を使いながら作ることの楽しさを知る。
ゆり組	一つのことに向かい、みんなで考えながら進めていく楽しさを味わう。 年長児であることを自覚し、みんなの役に立つことに喜びを感じる。

６月の行事予定

１日（火）	衣替え	21日（月）	身体測定
15日（火）	避難訓練	23日（水）	プール開き
19日（土）	お弁当の日	28日（月）	お誕生会

雨を表す言葉

日本語には雨を表す言葉が1200種類もあるそうです。
四季を大切にする国だからこそ表現の仕方が沢山あるのかもしれないですね。
ほんの一部をご紹介します。

麦雨　ばくう
麦の熟す頃に降る雨。梅雨

青葉雨　あおばあめ
初夏の青葉に降り注ぐ雨

白雨　はくう
白く見える雨。夕立ち にわか雨

天泣　てんきゅう
上空に雲がないのに降る雨
天気雨

SDGsへの取り組み　～みづま保育園～

『SDGsって何だろう？』　最近、テレビで目にしたり耳にしたりする機会が増えてきたなぁと感じる方が多いのではないでしょうか？

『Sustainable Development Goals（ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙ　ﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄ　ｺﾞｰﾙｽﾞ＝『持続可能な開発目標』

簡単にすると、地球を守るために国連が「2030年までにやるべき」と定めた世界共通の17の目標をさします。「私たちには関係ないのでは？」感じてしまいがちですが、気候変動・環境破壊・人口増加・貧困などの問題が大きくなり、このままでは地球で生き物が豊かに暮らしていくことが難しくなる時代が近づいてきているそうです。つまり、子ども達が大きくなった頃、今と同じ生活ができるか危ぶまれているのです。

　では、いま、子ども達の未来を守るために私たちに出来ることは何だろうと考えたときに、子ども達と一緒に様々な取り組みをしながら”考える力“を養うことではないでしょうか。昨年からみづま保育園でも少しずつSDGsを意識した活動に取り組んでいます。これまで以上に親子で楽しく知り、取り組んでいけたらいいなと思っています。早速ではありますが、身近にある「これ使えそう!!」と思う廃材をご家庭より持ってきていただき、子ども達自身の力で遊びや遊び道具への発展、循環させていくそんな取り組みが出来たらと考えています。玩具はお店で買えばすぐ手に入りますが、廃材一つで物を作ったり実験したり、失敗から発見（学び）を得ることは子ども達にとってはかけがえのない宝物です。ラップやトイレットペーパーの芯、蓋つきの入れ物、布の切れ端など回収できるようボックスを設置したいと考えていますので、ぜひご協力よろしくお願いします。

ゆり組テーマ：Act in Local, Think in Global.

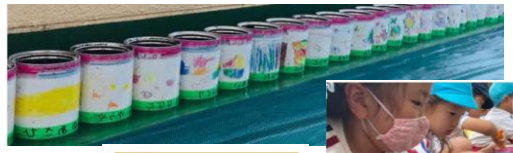
名頭園　弥生

すみれ組テーマ：循環　Sustainability

最初は魚の解体。
卒園する頃には
「自分に
何が出来る？」

魚屋さんの解体ショー

使い終わった
ミルク缶を使った
植木鉢



クリーン戦隊
スミレンジャー
ゴミ拾いをし三潴町を
綺麗にしています！

私達、勉強中！　ー保育って・・・ー

4月1日。保育園では入園式が行われました。
その午後、子ども達のいない園内で、職員全員が集まって研修を行いました。

”これからの保育について“

これからの社会に、子ども達にどんな資質・能力が必要とされるのか？という事を考えて私達は子ども達の輪の中にいるべきなのではないか？

小難しいテーマだと思われそうですが、研修の内容はシンプル。

まずは“自己紹介”。４～5人グループの既に顔の名前も知っている人たちに。

そして次に“自己紹介”。また？ですが、また！です。
今度は“私ってこんなところあるんです！”というちょっとお恥ずかしいけれど…の部分をさらけ出す自己紹介。

最初の自己紹介なんて、自分のいい部分だけしか紹介しませんから、人は。

そんな事をしながら腹を割った後に、チームビルディングをしました。

各グループに用意したのはA4用紙20枚。

”これだけを使い、高さを競いましょう（5分）“ゲーム

スタート！
作戦や方向性を先に話し合うチーム。
　　とりあえず手を動す試行錯誤するチーム。
　　リーダー的存在がまとめていくチーム。

さあ、5分経って・・・。
6チームが一つも被ることなく紙20枚を使って高さのある塔を作り上げました。

終わった後にチーム内で話してみると、多くの学びがあることが分かりました。
さらに、他のチームの完成した塔を見るとさらに新しい学びを見つけたり。

さて。ここからがテーマの本題。
この20枚のA4の紙を使って。
“今からお手本を示しますので、手順通りに同じことをしましょう。すると、一番高い塔が作れますよ。”と始めていたらどうだっただろうか？という問い。

皆さん想像してみてください。そして是非やってみてください。

大人たちが、対話をしながら協調・協働して試行錯誤して作った塔と
お手本通り、指示通りに作った塔とでは、
その過程にある学びの実感値が違うのはなぜだろう？

そして、”またやってみたい“という意欲が生まれるのはどっちだろう？

そんなことを考えながら、子ども達と関わる眼差しを磨いていきたいと思っています。

國友 裕子